

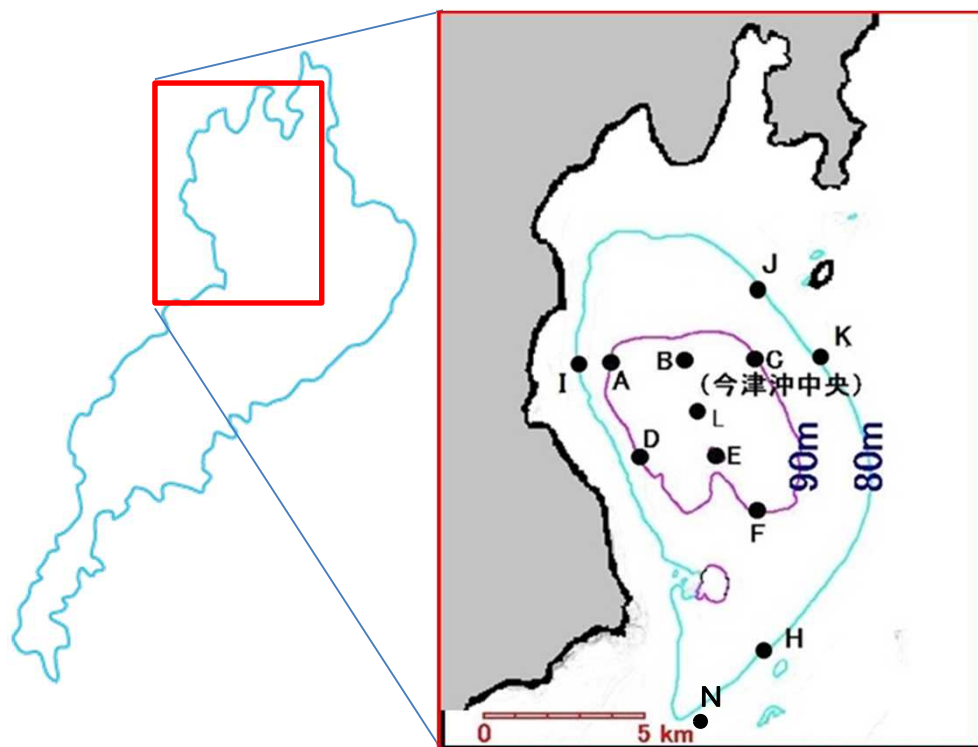
北湖底層DO調査結果（速報）

すいおんやくそう

北湖では、例年春季から初冬にかけて水温躍層が形成され、上層と下層の水の対流がなくなるため、底層の**溶存酸素(DO)**が低下し、晩秋に最も低くなります。その後、冬季に湖水の全層循環が起こり、底層まで酸素が供給されDOが回復します。

滋賀県では、北湖の底層DOの状況を把握するモニタリング調査を実施していることから、その結果をお知らせします。

調査地点



今津沖第一湖盆中央(水深90m)
およびその周囲の調査地点

C、F、L点: 定期調査

A、B、C、D、E、F、L: 詳細調査

K、H、I、J、N(水深80m): 詳細調査

湖底直上1mを調査

※底層DOの状況に応じて、地点数等を変更することがあります。

令和6年度の北湖底層DO調査結果（速報）

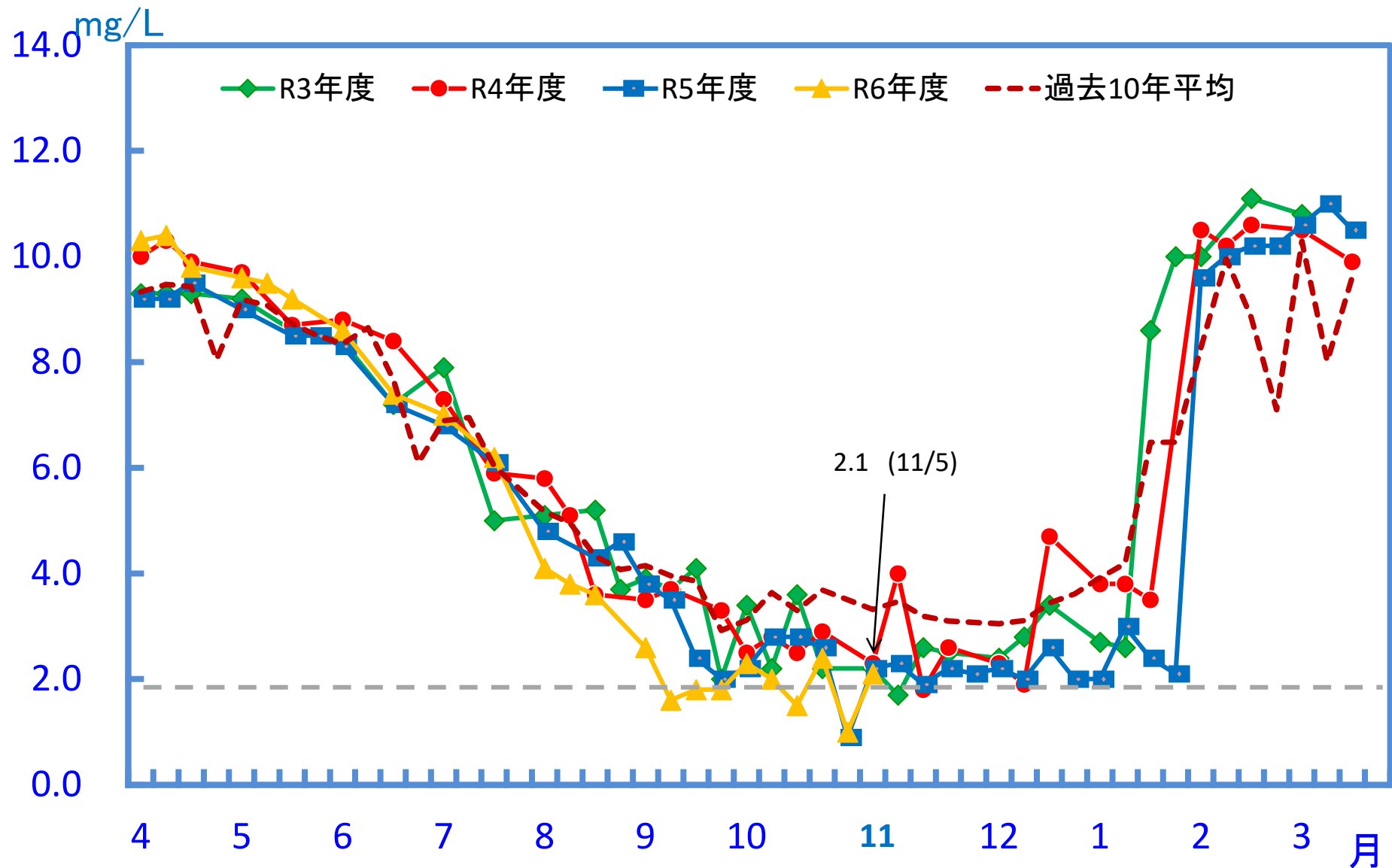
単位：mg/L

調査日 調査地点	7月		8月			9月				10月					11月	
	7/1	7/16	8/1	8/5	8/20	9/3	9/9	9/17	9/24	10/1	10/7	10/15	10/21	10/23	10/28	11/5
A		3.7	3.5		1.9	1.2	1.7	1.0	1.7		1.6	欠測 (強風)		<0.5		
B							1.2							0.8		
C(今津沖中央)	7.0	6.2	4.1	3.8	3.6	2.6	1.6	1.8	1.8	2.3	2.0	1.5	2.4	1.0	1.0	2.1
D		7.5	4.9		3.4	4.2	4.4	3.6	3.5		0.6	<0.5		2.5		
E							0.8									
F	7.1	5.5	4.3	4.8	3.5	2.8	<0.5	<0.5	1.7	2.2	1.4	1.0		0.8	0.9	2.0
L(第一湖盆中央)	6.8	4.9	4.8	4.6	3.1	1.8	<0.5	<0.5	0.9	1.5	<0.5	<0.5		0.7		0.6
K(水深約80m)							3.2		5.1						3.2	
H(水深約80m)							2.3		3.1		1.4			2.8	3.5	
I(水深約80m)															2.9	
J(水深約80m)															2.4	
N(水深約80m)											2.0					

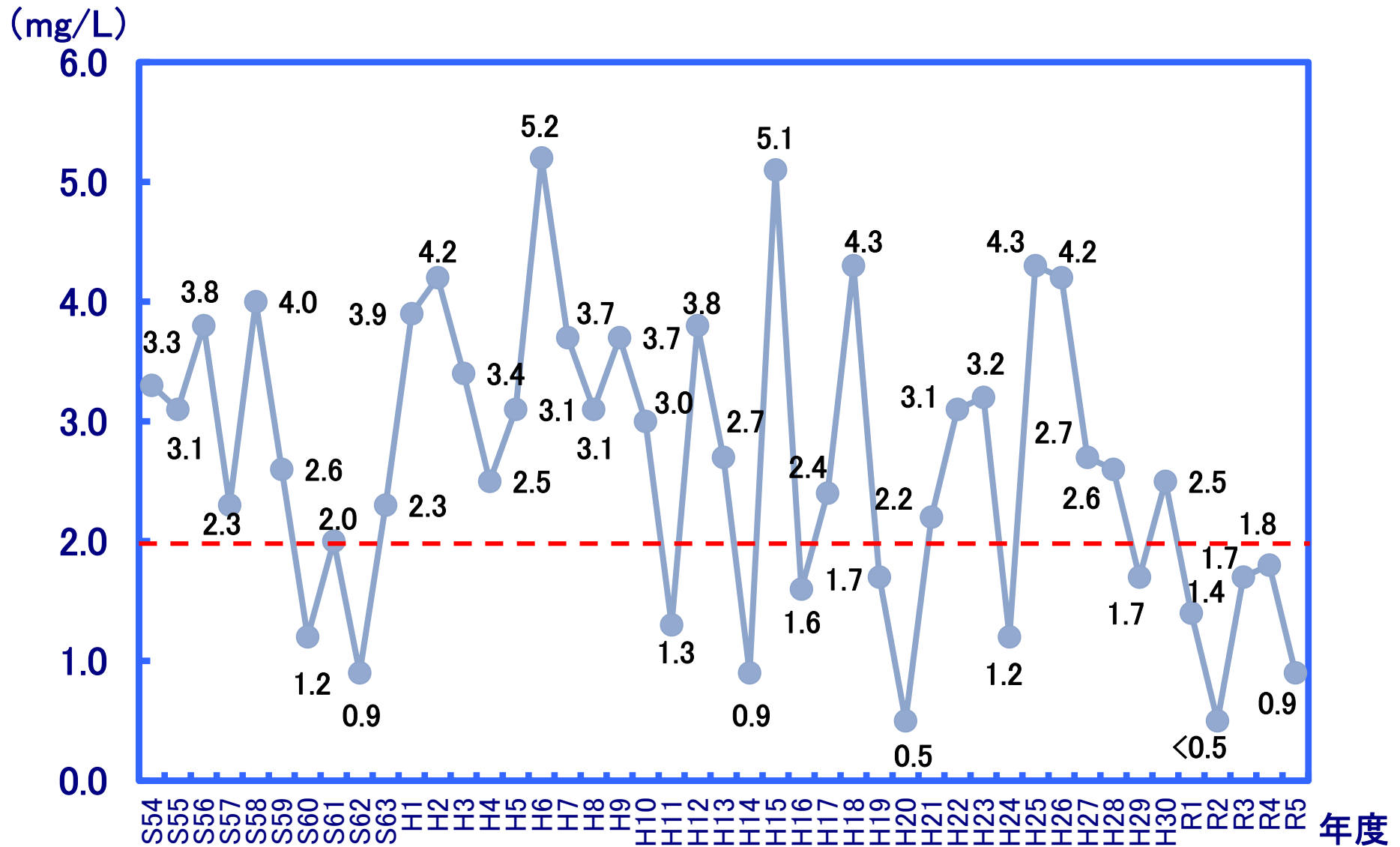
注1：表中の黄色部分は貧酸素状態（2.0mg/L未満）、オレンジ部分は無酸素状態（0.5mg/L未満）の結果を示します。

注2：風などの気象条件や底層DOの状況に応じて、地点数や範囲を変更することがあります。

C点における底層DOの経月変動



C点における底層DOの年度最低値



※H18以前は月2回、H19以降は月3～4回の調査頻度
 データ: 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター